

## 教師の働き方改革とコミュニティ・スクール

近年、教師の長時間勤務の過酷さが明らかになり、学校の働き方改革が叫ばれています。このような中、先月末、国の中央教育審議会の特別部会が、現在の状況は「わが国の未来を左右しかねない危機的状況にあると言っても過言ではない」と指摘し、「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策」を取りまとめました。

提言では、学校の現状・課題と国や県、市、各学校が取り組むべきものや、保護者や地域住民など社会全体が一丸となって対応すべき14の具体的な対応策の例が示されています。本号では、この中から、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動に関する対応例をご紹介します。

学校運営協議会（学運協）等、地域と学校の連携・協働に係る場でも、学校の働き方改革について積極的に議題として取り扱い、地域学校協働活動の一環として実施していくことが求められています。

### 1 登下校に対する対応

- ・学運協等での協議を踏まえ、地域学校協働活動の一環として登下校の見守り活動を実施する。

### 2 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応

- ・夜間などに行う見回り等は学校以外が担うべき業務として、学運協等を活用して保護者の理解増進を図るとともに、地域学校協働活動の一環として、警察や地域ボランティア等に移行していく。

### 3 地域ボランティアとの連絡調整

- ・学校以外が担うべき業務として、学運協等を活用して地域・保護者への一層の理解増進を進める。
- ・地域学校協働活動推進員等の人材を確保し、役割の明確化を進める。
- ・先行事例として推進員が学校に常駐し、地域と学校の連絡調整を担い教師の負担を軽減している学校が取り上げられている。

### 4 児童生徒の休み時間における対応

- ・学校の業務だが必ずしも教師が担う必要のない業務として、地域ボランティア等、地域や保護者への協力依頼を発信する。
- ・先行事例として、右のように、本市岬小学校の「学校支援ボランティア」による「遊び見守り隊！」の取組が掲載されている。

#### 山口県宇部市立岬小学校

子供たちが安心して安全に学校生活を過ごすことができるよう、地域の方から「学校支援ボランティア」を募集。

趣旨に賛同した地域の方や団体が入れ替わりで来校し、「遊び見守り隊！」として、昼休み等に運動場や体育館等で遊ぶ様子について、複数の目での見守り活動を実施。

### 5 校内清掃

- ・教師が行う清掃は日常的な環境の維持または改善のための清掃の範囲にとどめ、地域ボランティアの参画等を検討する。

### 6 部活動

- ・地域や保護者に明確なメッセージを発信するとともに、地域や保護者の理解増進を図り、地域連携・地域移行に向けた取組を推進する。